

新規事業採択時評価結果（平成18年度新規着工準備 箇所）

担当課：沖縄県道路街路課
担当課長名：仲宗根 朝雄

事業の概要

事業名	主要地方道南風原知念線バイパス事業 (地域高規格道路 南部東道路)	事業区分	地方道	事業主体	沖縄県
起終点	自：沖縄県島尻郡南風原町 至：沖縄県南城市玉 城字垣 花)	延長	8.3km (暫定2車)		
<p>事業概要 南部東道路は、南風原町内の那覇空港自動車道から南城市の大里、玉城、佐敷を経由して、知念に結ぶ延長約12kmの地域高規格道路である。本路線は、沖縄県広域道路整備基本計画に位置づけられ、沖縄自動車道や那覇空港自動車道等本県の縦軸を形成する高規格道路等に対しそれらの機能を補完する横軸を形成する道路である。</p> <p>事業の目的、必要性 南部東道路は、地形的制限等による幹線道路網の整備の遅れから交通の便の悪い島尻東地域において、産業振興、観光振興、安心あるくらしの確保を目的に、那覇空港や高度医療機関までの時間短縮を図るとともに、定時・定速を確保し、那覇市までの30分圏の確立を図り、通勤通学や経済活動等の利便性の向上や、地域住民に都市的サービスを提供するとともに、行動圏の拡大を図り、南部圏域の振興を支援する道路である。</p>					
全体事業費	159 億円	計画交通量	15,600 台/日		
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見
南部東道路は、地域間交流の促進と地域内の一体化、観光振興、産業振興、医療支援等に重要な役割を果たすことが期待されており、南風原町、南城市の首長、議会議長、商工会長らで構成される南部東道路整備促進期成会より早期整備の要望を受けている。(平成5年より毎年)

事業採択の前提条件

- ・ 便益が費用を上回っている。
- ・ 関係2市町(旧5町村)において起点の南風原南ICからつきしろIC間までのルートについて合意している。
- ・ 事業費のコスト縮減において、現道利用による橋梁部における歩道設置の取りやめや現況道路や土地利用の状況を踏まえ副道設置区間における一部歩道の設置取りやめなどコスト縮減が十分図られている。

事業評価結果

費用対効果	B/C	7.0	総費用 129 億円 (事業費: 103 億円 維持管理費: 26 億円)	総便益 900 億円 (走行時間短縮便益: 830 億円 走行費用減少便益: 36 億円 交通事故減少便益: 33 億円)	基準年 平成17年	
	感度分析の結果	交通量変動 事業費変動 事業期間変動	B/C= (交通量 %) B/C= (事業費 %) B/C= (事業期間 %)	B/C= (交通量 %) B/C= (事業費 %) B/C= (事業期間 %)		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	南風原知念線 【渋滞損失時間の改善】約86万人時/年 ⇒ 約32万人時/年 【H42年整備有無】約85万人時/年 ⇒ 約32万人時/年 【1kmあたり(台kmあたり)渋滞損失時間】 約5.9万人時/年km(現況) 沖縄県平均: 約4.1万人時/年km(約1.4倍) 全国平均: 約2.0万人時/年km(約3.0倍) 【渋滞度曲線】35位/225リンク数(街路は除く) 【その他の特徴】 ※データは県内平均・全国平均と比較すること		
		事故対策	○	南風原知念線 【死傷事故率】約35.1件/億台和(現況)(死傷事故率比(県内平均比)0.45(現況)) 沖縄県平均: 約77.5件/億台和(約0.45倍) 全国平均: 約120.0件/億台和(約0.29倍) 【その他の特徴】 ※データは県内平均・全国平均と比較すること		
		歩行空間	—	・ 状況に変化なし		
	社会全体への影響	住民生活	◎	・ 那覇市までの走行時間の短縮により通勤通学の利便性の向上が図れる。 ・ 医療施設までの走行時間の短縮による安心あるくらしの確保が図れる。 (旧知念村役場～高度多機能病院(仮称)の所要時間47分→32分)		
		地域経済	◎	・ 那覇空港自動車道との一体化により、那覇空港、那覇港へのアクセスが大幅に改善され、物流の効率化による産業振興や観光施設間の有機的連携の向上により観光振興が図れる。(旧知念村役場～那覇空港の所要時間53分→38分) (世界遺産である斎場御嶽に繋がる。)		
		災害	◎	・ 第1次緊急輸送道路ネットワークの拡大が図れる。		
環境		○	・ CO2、NOX、SPM 排出量が年間約4%～5%削減する。			
	地域社会	○	・ 人的、物的な交流機能の強化、経済活動の活性化等地域間の交流促進が図れる。 (空港までの30分圏域の人口が約7.1千人増加) ・ 新たに誕生した「南城市」の合併地域の一体化に寄与する。			
事業実施環境	○	・ 沖縄県広域道路整備基本計画に位置づけあり。 ・ 那覇空港自動車道と一体となった高速交通体系が構築される。 ・ 関係2市町において南風原南ICからつきしろIC間までのルートについて合意。 ・ H17.8「南部東道路整備促進住民総決起大会」が開催。気運高まる。				

採択の理由

南部東道路整備による南部東圏域の観光振興・産業振興・医療支援・沿道環境等、整備による効果は大きくその優先度は高い。並びに接続する那覇空港自動車道の豊見城東道路が平成20年に暫定供用が予定されており、その事業効果の早期発現を図るうえからも、当該区間の事業に着工するものである。
また、地元においては、これまでも南部東道路の整備要請を行ってきているが、町村合併が実現し、当該道路を新たな産業の創出、地場産業の活性化及び観光振興へ繋げていくとして整備の実現化へ向け、気運がさらに高まっている。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

